教学執行部の新たな体制

實地應用ノ「素」ヲ養フ 新時代を拓く白門の伝統と実績

中央大学学長 河合 久

中央大学は、1885年に英吉利法律学校として創立されて以来、「實 地應用ノ素ヲ養フ」との建学の精神のもとに、136年の歴史と白門を 象徴とする伝統と実績を築き、いつの時代にも、社会を支え、未来を拓 く人材を育成し、社会に貢献することを使命として参りました。

学問や研究は、実社会とそこに生きる人々に無縁ではなく、現実事象 から課題を発見し、理論を還元するといった形で、社会の営みとの相互 作用により発展すべきです。常に時代とともにあり、社会の変化に適合 するよう進化する。中央大学の建学の精神である「實地應用ノ素ヲ養フ」 は、このような学問研究の姿勢に根ざす教育観を表したものです。した がって「素」とは社会に応用できる力の素地であり、「素ヲ養フ」とは知 識はもとより、さまざまな体験や人との交流の中で培われるコミュニケー ション力や議論する力、組織的な判断力、そして弛まず学び続ける力の 涵養にほかなりません。

中央大学では、この"真の実学精神"を脈々と受け継ぎ、本学が、 8学部、大学院7研究科、専門職大学院2研究科、4附属高等学校、 2附属中学校と9研究所を擁する総合大学・総合学園となった今日、多 様な学問研究と幅広い実践的な教育を通して「行動する知性」を育むと いうユニバーシティメッセージとして受け継がれています。

現代は、社会や生活を変革する DX (デジタルトランスフォーメーション) の進展に加え、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより生活様 式が一変するなど、従来にない大きな変化が起こっています。私たちは この変化を契機に、さらなる教育環境の充実に向けて前進します。コロ ナ禍の対応においては引き続き学生の皆さんへの経済支援や対面授業 とオンライン授業の適切な組み合わせによる授業運営のための環境整 備に注力するとともに、オンラインの利点を活かした他学部・キャンパス との交流を促進し、将来的にはダブルディグリーの取得も含めた海外の 大学との提携も視野に入れています。

一方、DX が当たり前となる次代の社会を生きる基盤として、2021 年から「AI・データサイエンス全学プログラム」を開始しました。文理融 合型の学際的な共通教育を行うFLP(ファカルティリンケージ・プログ ラム)とともに拡充・発展していきます。

さらにこのような本学の教育資源をはじめ、コロナ対応により磨かれ た知見、また「FOREST GATEWAY CHUO」などの新たな大学施設と いった、本学の豊富なリソースを地域の人々やさまざまなコミュニティに 開放、活用し、社会との交流も積極的に図る所存です。これは、学生 の皆さんが常に社会とともに学び、相互に成長しながら社会に応用する 力を養ってほしいからです。新しい教学執行部(学長・副学長・学部長・ 研究科長・研究科委員長等)においても、確かな未来につながる学び の実現に向けて、私たちはさらに「開かれた中央大学」をめざします。



■副学長





佐藤 信行 教育開発・社会連携・広報・



白井 宏 国際連携 担当



〈任期:2024年5月26日まで〉

礒崎 初仁 入試・広報・総合学園推進 担当



情報システム・教学 IR 推進 担当 学生総合支援 担当



鳥居 伸好

加藤 俊一 研究・産官学連携推進 担当



武石 智香子 全学共通教育 担当

〈任期:2021年10月31日まで〉

■学部長











文学部長 宇佐美 毅



総合政策学部長 青木 英孝



国際経営学部長 中迫 俊逸



研究科長



小林 明彦



〈任期:2021年10月31日まで〉



戦略経営研究科長 露木 恵美子